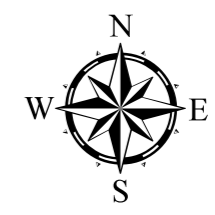


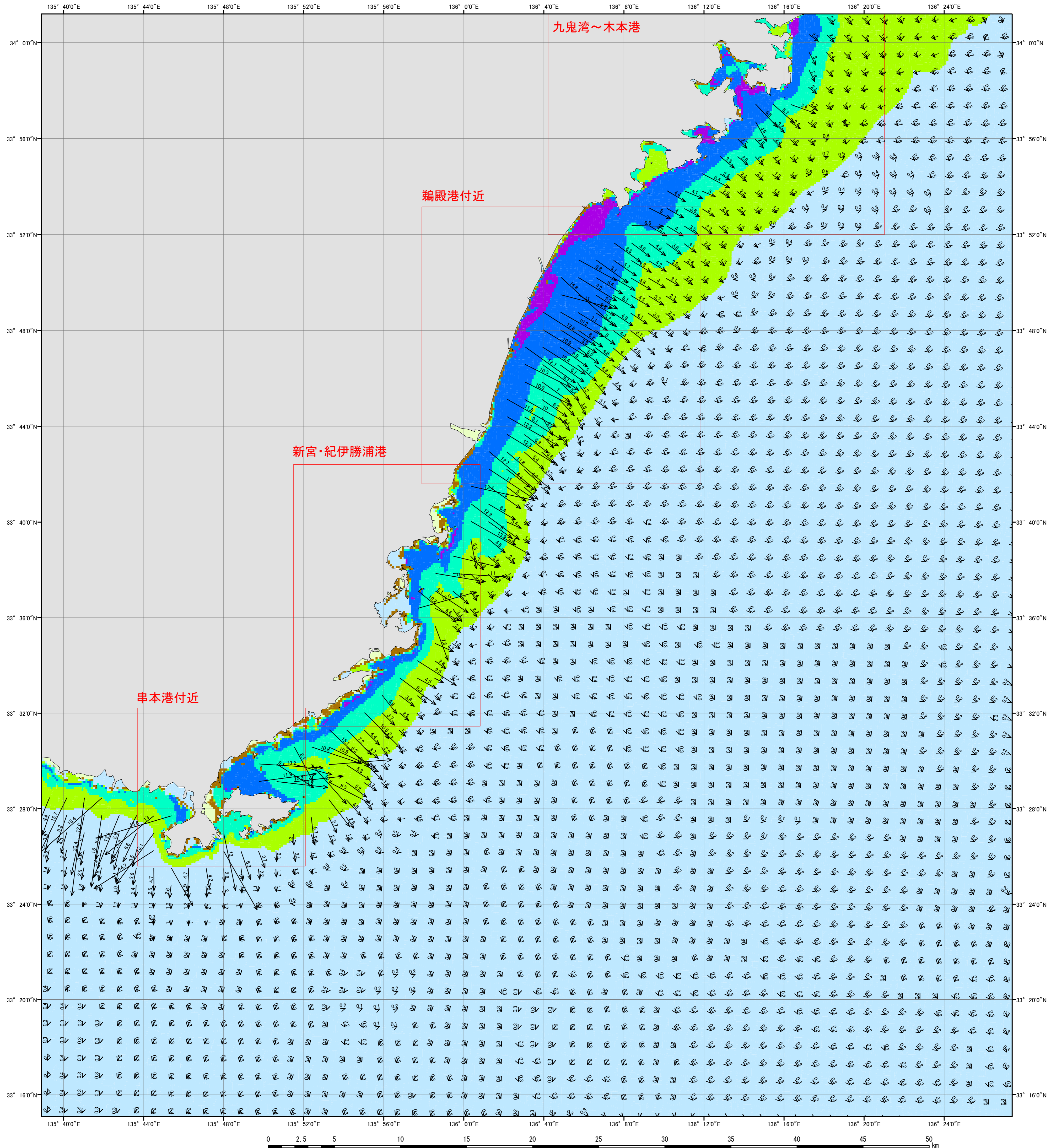
紀伊半島南東岸 広域津波防災情報図 (引潮図)

計算条件： 最低水面（零位）
 Zo : 1.00m
 隆起量： 平均 2.60m (-0.18m ~ 4.98m)
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

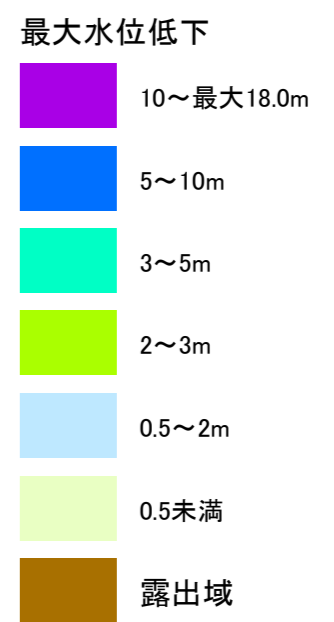


座標系:メルカトル図法
 測地系:世界測地系(WGS84)

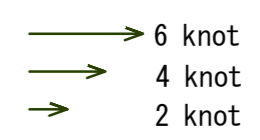
赤枠内には、さらに詳細な港湾の津波防災情報図があります。



凡例



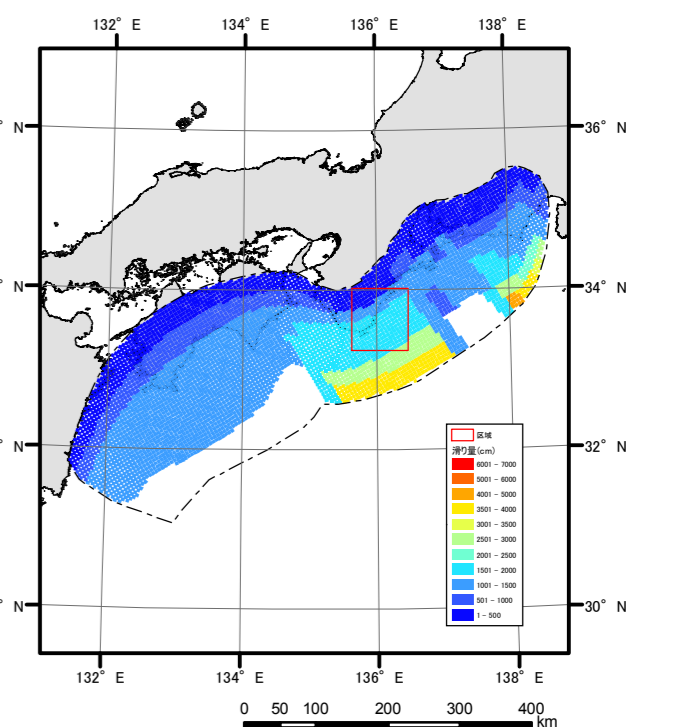
引潮時最大流 [knot]



○ 流向変化が激しく、進入、引潮等の判定が困難な海域では流速のみを表示した。

○ 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から行った。

断層モデル



ケース⑧「駿河湾~愛知県東部沖と三重県南部沖~徳島県沖に『大すべり域+超すべり域』」

断層面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.2 X 10 ²²
平均すべり量 D (m)	10.4
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。
 使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、新宮・紀伊勝浦港付近で浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10.2対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、海上保安庁が保有する水深データを使用した。